

活用ナビ

①【ねらい】資料から大名行列の様子を知り、問いを作る。

- ② ● 題を読みましょう。
 - どこを目指しているのでしょうか。
 - 大名は幕府に何を命じられたのでしょうか。
- ※教科書を読みながら、確認していく。

- ③ ● 絵から気づいたことや思ったことを書きましょう。
- ※気づいたことに加えて予想や解釈（～なのではないだろうか）も書いてよいことを伝える。また、疑問（なぜ～なのだろうか）を書いてよいことも伝え、⑤の布石とする。


- ④ ● 大名行列は、なぜ行われるようになったのでしょうか。話し合いました。
- ※予想を話し合わせ、⑤に結び付ける。

- ⑤ ● 江戸幕府について、これから学習したい問いを考えましょう
- ※大名の支配を中心とした政治や人々の暮らしを取り上げたい。
- ※子どもたちの発表からまとめていく。

- ⑥ ● みんなでつくった学習問題をノートに書きましょう。

6年-11

2-6 幕府の政治と人々の暮らし
江戸をめぐす行列

 P138～P139

6年 組 番
名前

①【ねらい】資料から大名行列の様子を知り、問いを作る。

②【基本】教科書の資料を見よう。

- ・ 題を読もう。
- ・ どこを目指しているのだろうか。
- ・ 大名は幕府に何を命じられたのだろうか。

江戸

1年おきに江戸と領地を行き来するように命じられた。

③【ポイント】資料を読み取ろう。

- ・ 絵から気づいたことや思ったことを書こう。

- ・ たくさん的人数で行列をしている。
- ・ 加賀藩から江戸まで行列で行くのなら、時間も費用もかかったと思う。
- ・ 武士のようだけど、かぶとやよろいはつけていない。戦いに行くわけではないと思う。
- ・ 人々がすわって行列を見ている。大切な行列だったのだろう。
- ・ なぜわざわざ江戸と領地を往復させたのか。
- ・ 1年間は江戸に大名が住むことになる。江戸幕府に支配されたのかもしれない。
- ・ 江戸幕府が大名を従えさせるために行ったのではない。

④大名行列は、なぜ行われるようになったのだろうか。話し合おう。

⑤江戸幕府について、これから学習したい問いを考えよう。

- ・ 江戸幕府はどのようにして大名を支配したのか。
- ・ 江戸幕府ではどのような政治が行われたのだろうか。人々の暮らしはどのようになっていたのだろうか。

⑥みんなでつくった学習問題をノートに書こう。

資料の読解

大名行列はもともと戦いのための移動のことを指していたが、江戸時代には大名の権威を示すものと変わった。その背景は江戸幕府が行った参勤交代の制度を作ったことにある。参勤交代で江戸に来た大名は将軍と主従関係を確認し、江戸幕府のために働いた。そして、幕府への忠誠心や藩の力を示すために、大名行列を大きなものにしていった。

この絵はその大名行列の中でも大規模な加賀藩の様子を描いている。教科書の絵の説明に「2000 人も行列」と書かれているとおり、この絵には当時の大名の力が示されている。具体的には、長い行列、多くの荷物、馬に乗りながら移動している人物、行列の脇でひざをついて見ている人々の様子等に注目させたい。そして、人々の身なりから戦いに行くわけでもないのに、どうしてこのような行列で江戸に向かったのか、本単元での学習問題に関連づけるようにしたい。

読解の方法

- (1) 最初に絵の基本情報を、題と教科書から確認する。大名行列であること、江戸に向かっていること、幕府に命じられて1年おきに江戸と領地を往復したことを読み取らせる。
- (2) 続いて、絵から気づいたことや思ったことを書かせる。この時には、予想や解釈を「～なのではないだろうか」「なぜ～なのだろうか」といった形で書かせたい。そのことが本時のねらいである「問いを作る」ことの足掛かりとなる。発表の際には、気づきが多く出てくるとされる。どの部分のことを指しているのか、図を指し示しながら発言させ、情報の共有化を図りたい。
- (3) 発表させたのち、(2)で出てきた子どもたちの疑問から、「なぜ大名行列が行われるようになったのか。」と問う。さまざまな予想を学習問題に結びつけるようにする。